

# 日本を支える

## KANSAIモノづくり企業

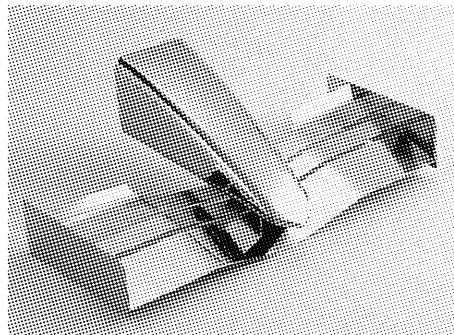
73

大田産業はステンレスをメインに、アルミニウムやチタンを含めた板金加工を手がける。技術力は2006年に、ひょうご産業活性化センターから成長期待企業の認定を受けたことなどで実証済みだ。兵庫県立工業技術センターの技術紹介により、レーザー加工機を使用したレーザーフォーミング加工技術を培ってきた。

## 大田産業

た。レーザー照射の熱量やスピードを変え、曲げ加工を行う。この技術で製作したレーシングカーのフロントノーズのモデルは、04年にアマダスクールが主催する第17回優秀板金製品技能フェアで銅賞を受賞した。同社は若者に人気の高いアニメ「エヴァンゲリオン」のステンレス製フィギュアをレーザー加工で製作したことも話題を呼んでいる。同フィギュアは各種のイベントに引っ張りだこで、同社の技術力のアピールに大きく貢献。今後、商業化に向けた研究を続けていく。

最近、力を入れているのがインターネットサイトの活用だ。自社技術を生かし、デザイン面にも



フロントノーズモデルは優秀板金製品技能フェアで銅賞を受賞した。……な収入源になっていく。ステンレス箱の受注サイトは最近、リニューアルしたばかり。発注方法を改良し、客

ある場合はその通りにつくることが可能だ。「立ち上げたころはA4用紙1枚に印刷できるくらいのごく簡単なサイトだった」（太田社長）が、今では大事な取引手段に成長している。チタンやステンレスを素材としたアクセサリーの製作サイトも運営している。高品質な製品を販売するため、5分の1まで安くなる場合もあるという。太田社長は「今までと違う販路を求めないと生き残れない」と販路開拓の方法を模索し続ける方針だ。

# 板金加工ネット受注に力

考慮した一般消費者向け製品を販売する。08年にはステンレス箱の受注サイトも立ち上げた。客の要望や仕様に応じて、各種の金属ボックスを製作する。集合住宅の管理棟

に設置する郵便受けや携帯電話を収める箱など、形や用途は顧客によってさまざま。「最近も箱製作依頼の電話が入ってきた」（太田勝久社長）と、少ないながら安定的

が材質選定から大きさ、扉の仕様、溶接方法までパソコン画面上で行えるようにした。デザインが簡単に決定できるよう画像による説明も充実。正確な設計図やスケッチが

売するためデザイナーとのかかわりも密に行う。アクセサリーのネットショップも運営しており、09年の売り上げは100万円まで達した。

……  
▽社長 太田勝久氏  
所在地 兵庫県稲美町六分1-1356の9 大田産業  
員4人 製品 板金加工  
URL www.ohtasan.co.jp